

おのまち

# 社協だより

第1回コミュニティセンター協議会

2015  
9/25  
Vol.49



## もくじ

社会福祉協議会記事	…2P
寄付、福祉車両	…3P
サマージョイントボランティア	…4P
ボランティアアサタ	…5P
デイサービスセンター	…6P
赤い羽根共同募金	…7P
百歳賀寿、その他	…8P

たくさんの笑顔に

出会うことができました

発行 社会福祉法人小野町社会福祉協議会  
〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字美赤57-1  
TEL.0247-72-6866 FAX.0247-71-0471  
mail:ono-shakyo@sunny.ocn.ne.jp

## 小野町 民生委員協議会研修

平成27年5月28日からの2日間、小野町民生委員29名が、岩手県山田町民生委員協議会において取り組んでおりますサロン事業について研修を行いました。

研修では民生委員12名の出席をいただき、単身高齢者を対象に実施しております「お座敷広場」サロン事業について、取り組みに至る経緯や現在の状況等について意見交換を行いました。



## 第30回 福島県高齢者福祉大会

平成27年7月29日、相馬市民会館において、「第30回福島県高齢者福祉大会」が開催されました。

この大会は高齢者が心身の健康の保持及び生活の安定を保ちながら、心豊かな社会を目指し、積極的な地域活動を推進するとともに老人クラブの強化を目的に毎年開催されています。

本大会におきまして、谷津作長寿会の地域活動が認められ、県老人クラブ連合会会長から感謝状を授与されました。



## 小野町総合防災訓練



平成27年9月13日、小野町運動公園周辺において、「小野町総合防災訓練（小野町防災デー）」が実施されました。この訓練は、町民の防災に関する知識と意識の向上を目的に行われ、関係機関の連携についての確認や、防災体験が行われました。

当協議会では、災害救護用包装食袋（ハイゼックス）を用いての炊き出し体験を担当しました。

参加者の皆様大変お疲れ様でした。

## 認知症サポーター 養成講座

平成27年7月27日、小野町役場母子健康センターにおいて、「認知症サポーター養成講座」が行われました。

この講座は認知症を理解し地域でささえあうことを目的に開催され、現在小野町では236名がサポーターとなっています。

認知症サポーターに興味のある方は、当協議会までお問い合わせください。



# 善意のご寄附ありがとうございました

『社会福祉のためにお役立てください』と、社会福祉協議会に対し多くの方々より多額のご寄附をいただきました。お寄せいただいた浄財は、社会福祉事業の資金として役立たせていただきます。今回は平成27年4月から平成27年7月までにご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。(敬称略)

## 篤志(社会福祉のために)

石塚 裕(仲町)  
大橋兄弟オフィス  
郡山ヤクルト販売株式会社 代表取締役 長谷川 進



## 遺志

草野 勉(飯豊上)	遺志(故父)	草野久四郎	箕輪 義行(仲町)	遺志(故母)	箕輪トミヨ
國分 紀光(東京都)	遺志(故叔母)	國分千代子	緑川 寛(皮籠石)	遺志(故母)	緑川 マキ
橋本 一郎(小野山神)	遺志(故父)	橋本 善春	緑川 儀一(仲町)	遺志(故妹)	緑川セイ子
矢吹 晃(小野赤沼)	遺志(故母)	矢吹ミヨ子	古山 眞佐夫(反町)	遺志(故母)	古山美佐子
宗像 伝喜(飯豊上)	遺志(故母)	宗像ヨシイ	草野 倉治(皮籠石)	遺志(故母)	草野 千代
大樂 博一(大八)	遺志(故母)	大樂 周子	今泉 隆之(飯豊中)	遺志(故父)	今泉 正之
會田 邦市(小野赤沼)	遺志(故母)	會田 スエ	宗像 廣美(吉野辺)	遺志(故母)	宗像ハルミ
矢吹 一郎(小野赤沼)	遺志(故母)	矢吹千代子	長窪 文雄(谷津作)	遺志(故母)	長窪 フヨ
村上 安雄(谷津作)	遺志(故祖母)	村上ミツイ	佐藤 陸郎(荒町)	遺志(故母)	佐藤 正美
西牧清重良(小野赤沼)	遺志(故母)	西牧十三子	遠藤 悟(本町)	遺志(故父)	遠藤 菊男
三本松 昭(小戸神)	遺志(故父)	三本松信雄	會田 敏彦(仲町)	遺志(故母)	會田フク子
吉田 和典(夏井)	遺志(故祖母)	吉田タマヲ	矢吹 富雄(菖蒲谷)	遺志(故父)	矢吹 徳弥
岩塚 経治(湯沢)	遺志(故父)	岩塚 経美			

## 福祉車両の貸出しについて

福祉車両について前回の広報紙にて周知をさせていただき、利用人数も徐々に増えており、利用者様からは役に立ちましたと感謝の言葉を多数承っております。

これからご旅行を考えていらっしゃる方や買い物や病院の送迎にご利用できますので、お気軽に当協議会までご連絡ください。



# サマーショートボランティアスクール



平成27年7月24日から8月27日、高校生の夏休み期間を利用して、福祉施設へのボランティア活動を経験していただく「第25回 サマーショートボランティアスクール」が開催されました。

町内の福祉施設にご協力を頂き、創作活動、食事や入浴介助、環境整備、共同作業などボランティアが行われ、緊張や戸惑いの中、それぞれが目標達成に向け、真剣に取り組む姿が見られました。

受け入れていただきました施設の皆様、ご協力ありがとうございました。

ボランティアに参加された皆さん、お疲れ様でした。

## 参加者活動感想文より

ボランティアを経験して一番印象に残っていることが、施設の利用者の皆さんがとても元気に笑顔でお話をしてくださったことです。また、優しく接していただき、私も元気に活動することができました。また、施設を利用されている皆さんや職員の方たちの優しさや笑顔は私を元気にしてくれました。

特別養護老人ホームこまち荘  
小野高等学校 1年 影山 瑞季

3日間のボランティアを通して福祉の楽しさを更に感じることができました。ボランティア最終日に利用者の方から手紙をいただき、初めての経験だったのでとても嬉しかったです。このボランティアでの経験をこれからの勉強や進路活動に役立てていきたいです

特別養護老人ホームさくら  
小野高等学校 2年 中野 彩音

何不自由なくできていたことができないという方の介護は、介護される側は嫌だと感じることもあると思います。その介護というのは、細かいところまで注意して介護を提供することができるか考えていけないといけないことだと実感しました。

デイサービスセンターあすか  
小野高等学校 1年 七海 香奈

一番印象に残っていることは、3日目に行われた夏祭りです。浴衣や甚平を着たり、太鼓、出店が用意されていて利用者さんの視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の五感を刺激するのに最適なのかなと思いました。盆踊りも一緒に踊り利用者さんが踊っているのを見てとても圧倒されました。

機能訓練センターさくら  
小野高等学校 1年 有賀 望

サマーショートボランティアで感じた事は、職員の方々が高齢者のことを最優先に考え、常に高齢者にとってよりよい仕事をなさっているのだと感じました。この3日間のボランティアで本当に多くのことを学ぶことができました。私も将来の夢に向けて精一杯頑張りたいと思います。

グループホームさくらんぼ  
小野高等学校 2年 滝田 楓

最終日に、利用者の方とお話しているときに、「介護福祉になりたいです」と話すと利用者さんから「笑顔でがんばってね、応援しているよ」と皆さんが笑顔で言ってくれて心から頑張ろうと思いました。

グループホームさくらんぼ仲町  
小野高等学校 1年 筋内 絵里夏

今回のボランティアを通して、心の底から福祉の仕事に就きたいと改めて思うことができましたこれからも経験を積み重ねて、頑張りたいと思います。3日間という短い時間ではありましたが、大変多くのことを学ぶことができました。

ありがとうございました。

JAたむらは～とらいふ小野  
小野高等学校 2年 伊藤 彩香

ボランティアを体験して、自分の今後の将来を見据え、これからも障がい者に関わるボランティアに参加していきたいです。また、ボランティアをする機会があったら、たくさんの笑顔を届けられるような支援をしていきたいです。

こまち作業所  
小野高等学校 2年 先崎 あかり

私は、このサマーショートボランティアに参加して、とても楽しかったです。また、様々なことが分かりとても勉強になりました。利用者の方とお話することができたことを忘れられない思い出となり、また参加したいです。

小野町老人デイサービスセンター  
小野高等学校 1年 渡辺 架奈



# 小野町ボランティアセンター通信

## 幼児安全法講習会



平成27年7月12日（日）当協議会ボランティアセンター主催により日本赤十字社福島県支部葛西梅太郎先生を講師に招き、子供に起こりやすい事故、手当の方法、病気への対応などについて講話をいただきました。

参加者の方からは、「勉強になった。今後の生活に役立てたい」と好評価をいただき、有意義な講習会となりました。

## ボランティア推進委員会



平成27年6月10日、ボランティアセンター推進委員会が開催されました。

委員会では、委員の任期満了に伴い小野町ボランティアセンター推進委員9名に委嘱状が交付され、引き続き前年度下半期事業報告及び今年度事業計画についての協議が行われました。

委員の皆様より頂いたご意見は今後のセンター事業運営、企画に反映させていただきます。

## お知らせ

### 全国ボランティアフェスティバルがふくしまで開催されます！

平成27年11月21日から22日の2日間、郡山市ビッグパレットふくしまにおいて全国ボランティアフェスティバルが開催されます。

全国ボランティアフェスティバルは、ボランティア・市民活動を推進する多彩な諸機関・団体の協働により開催される、ボランティア・市民活動の最新情報発信、情報交換・交流の場です。

ボランティア活動をしている方、興味がある方はふるってご参加ください。

詳しい内容については『第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま』のホームページ、またはお近くの社会福祉協議会にお問い合わせください。

<http://fukushimakenshakyo.or.jp/vffukushima/index.html>

“ありがとう”  
未来につなごう ふくしまから

第24回全国ボランティアフェスティバル ふくしま  
2015年11月21日(土)・22日(日)

メイン会場 / ビッグパレットふくしま (福島県郡山市) 申込締切 10月9日(金)

参加費 / 3,000円 (大学生以下 無料)

主催 第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員会  
社会福祉法人福島県社会福祉協議会  
福島県ボランティアの会(財)福島県社会福祉協議会  
社会福祉法人全国社会福祉協議会

共催 第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま実行委員会事務局  
(福島県社会福祉協議会) 〒960-8141 福島県福島市南町111  
TEL:024-523-1254 FAX:024-523-4477

●参加申込みの詳細はホームページをご覧ください。  
<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp/vffukushima/index.html>

●Facebookページでは、大会の開催情報を公開中!  
<https://www.facebook.com/volufesfukushima>

厚生労働省補助事業

# ～笑顔で元気いっぱい～ デイサービスセンター

暑い季節が過ぎ去り、秋の涼しさが小野町にも到来してきました。日中と夜の気温の差が激しくなるので体調管理には十分注意して頂きたいと思います。さて、小野町老人デイサービスセンターでは6月～8月にかけて様々なイベントを開催して参りました。その一部をご紹介します。その一部をご紹介します。

## 買い物ツアー (5/11～6/12)



去年に引き続き好評だった買い物ツアーが行われ、ヨークベニマル小野プラザ店へ行ってきました。すみれ会の皆様、ご協力ありがとうございました。利用者の方からは、「とても楽しかった」「買い物ができてよかった」と感想をいただきました。

## 野外昼食会 (6/15～6/20)



天気の良い時には、外の景色と風に触れながら食事をしました。「外で食べると一味違う」「気分がいい」と利用者さんも喜んでいました。

## スイカ割り (8/3～8/8)



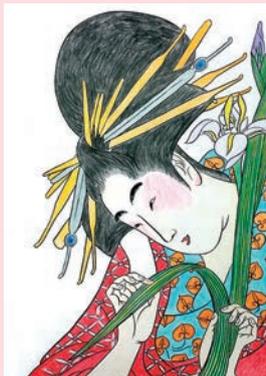
夏のイベントとして、スイカ割りを行いました。体を動かすことで、筋肉の老化を防ぐとともに、機能訓練の意味合いも合わせて実施いたしました。

## 活動紹介 《ぬりえ》

ぬりえには、脳全体の活性化、手指の機能向上、認知症予防、ストレスの解消などの効果があります。利用者の皆様も積極的に参加され、色彩豊かな作品に仕上がっています。



先崎悟郎様  
作



根本光子様  
作

## ～予定表～

9月	敬老会
10月	もみじがりドライブ
11月	運動会
12月	お楽しみ会、忘年会
1月	新年会

～赤い羽根共同募金にご協力をお願いします～

## 地域の福祉活動を応援する募金 『赤い羽根』

今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が実施されます。

赤い羽根共同募金は、社会福祉法に基づいて全国一斉に行われる、地域福祉の推進を図るための募金運動です。

昨年の共同募金運動では、小野町全体で2,456,230円のご協力をいただき、学校や団体などの福祉活動に役立させていただくことができました。誠にありがとうございました。

今年も、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

### 共同募金Q&A

Q. 赤い羽根共同募金とは、どういう募金なの？

A. 赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動を支える募金です。

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉活動を進めるための資金を、寄付という形で広く募る募金運動です。戦後間もない昭和22年に始まり、今年で69回目を迎えます。

社会福祉施設・団体への機器整備や事業費の助成、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など、民間の社会福祉事業を支える大きな力となっています。

Q. どうして「赤い羽根」がシンボルマークなの？

A. 赤い羽根は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルです。

赤い羽根は、むかしから世界中で、勇気や良い行いのしるしとして使われてきました。イギリスのロビンフッドや、アメリカの先住民民族も、赤い羽根をつけていました。

Q. 税金を払っているのに、なぜ、共同募金をする必要があるの？

A. 共同募金は、ニーズに対し迅速に柔軟に対応できる、民間福祉活動の財源です。

行政では、私たちの税金で公平に効率的に、社会福祉の対象者にも、不公平にならないように施策を行っています。行政の施策の基本は、法律や条例などにより定められ、公平に行われています。逆に言えば、新しい要望や予想外の状況に臨機に対処できない場合が多いのです。

ところが社会福祉の現場では、日々その対象がかわり、できるだけ早く実情に即したさまざまな活動が必要になります。そうした場合、臨機応変に動けるのが「民間」です。

それが民間のよさであり、民間の特質である迅速性、柔軟性、先駆性、開拓性です。そのため財源として、共同募金は欠かすことができないものです。

昨年の赤い羽根共同募金などにより助成を受けた団体、施設を紹介します。

◆夏井第一小学校



◆NPO法人ほっと  
障がい者支援センター  
プラス こまち



共同募金についてのお問い合わせは  
小野町共同募金委員会  
(小野町社会福祉協議会内)  
小野町大字小野新町字美売 57-1  
TEL.0247-72-6866  
FAX.0247-71-0471

へどうぞ

社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

# 百歳 おめでとうございます

3名の方が100歳の誕生日を迎えられ、親族や関係者同席のもと贈呈式が行われました。

町からは大和田町長より賀寿と敬祝金が、福島県からは県知事賀寿と木杯が贈られ、当協議会からは花束を贈呈いたしました。これからもお元気に過ごされますよう心よりお祈りいたします。



吉田 マサ子 さん (中通)  
平成27年6月8日



久野 ハルヨ さん (飯豊)  
平成27年9月1日



長久保 タケノ さん (浮金)  
平成27年8月30日

## 編集後記

今年は寒暖の差が激しく例年なく体調管理がとても難しい夏だったと思います。夏季も終わりこれから益々肌寒くなる季節がやってきます。みなさん体にお気をつけてください。

当協議会でも体調に気をつけ安心安全に楽しんでいただけるようサービスを提供していきたいと思ひます。

### 社会福祉法人小野町社会福祉協議会

〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町  
字美売57番地 1

TEL 0247-72-6866 FAX 0247-71-0471

#### ○小野町ボランティアセンター

TEL 0247-72-6866 FAX 0247-71-0471

#### ○小野町老人デイサービスセンター

(指定居宅サービス事業所)  
TEL 0247-72-6777 FAX 0247-72-6790

#### ○小野町在宅介護支援センター

(指定居宅介護支援事業所)  
TEL 0247-72-6377 FAX 0247-71-0471

#### ○小野町社指定相談支援事業所

〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町字品ノ木111  
TEL 0247-61-6101 FAX 0247-61-6102



小野町社会福祉協議会では個人情報保護法に関して適用されている法令、国が定める方針その他の規範を遵守し、保有する個人情報の保護に努めます。

お詫びと  
訂正

社協広報誌ひまわり48号2Pの出張理髪サービスの記事に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。  
(正) 5月、11月 (誤) 5月、12月